

患者様お一人おひとりの人間性を尊重し、良質で心のこもったケアを提供します。

クローバーホスピタルが担う役割

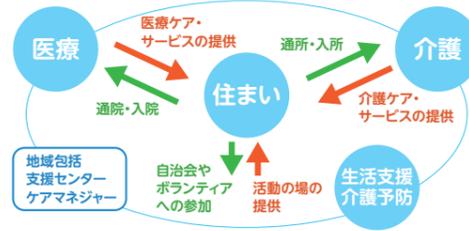
地域医療構想において

国が策定した「地域医療構想」では、効率的で質の高い医療を提供するために病床機能の分化を推進しています。高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期機能の4つのうちクローバーホスピタルは回復期の医療を担っています。

地域包括ケアシステムにおいて

地域包括ケアシステムとは、「介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいのサービスを、一体的に受けられる支援体制」のことです。

地域包括ケアシステムのイメージ



その中で医療の中心的役割を担うのが地域包括ケア病棟です。①急性期病院からの患者様の受け入れ(ポストアキュート)、②在宅・施設の患者様の緊急受け入れ(サブアキュート)、③在宅への復帰支援、の3つを行います。

クローバーホスピタルは、急性期医療と在宅医療の橋渡し、医療と介護の橋渡し、在宅医療のバックアップをすることで、地域包括ケアシステムを支えます。

在宅復帰を目指す方に地域包括ケア病棟・回復期リハビリ病棟で必要な治療とリハビリテーションを提供し在宅復帰支援を行います。

高度急性期病院 一般急性期病院

ポストアキュート

クローバーホスピタル170床

2F	地域包括ケア病棟	50床
3F	回復期リハビリテーション病棟	60床
4F	地域一般病棟	60床
(うち特殊疾患入院医療管理料)		20床

サブアキュート

在宅・介護施設・老人ホーム



Doctors
(私たちが担当します)

診療科目：
内科・脳神経内科・呼吸器内科・
消化器内科・循環器内科・
リハビリテーション科・アレルギー科・
リウマチ科・各種健康診断



外来診療

(総合診療から専門科まで)



Rehabilitation
(PT・OT・ST、60人以上の体制)

病院憲章

- 伝統と歴史を認識し、患者様、地域、職員に選ばれる病院を目指します
- 一人ひとりが親身になってすべての患者様を支援します
- 常に在宅復帰の可能性を追求し、最新・良質な医療介護を提供します



理事長 篠原裕希
Hiroki Shinohara

「2040年問題」とは、団塊世代ジュニアが高齢者になることによって起こる日本の社会的課題の総称です。高齢者の急増、働く世代の急減は私たち医療介護領域にとっても来るべきものが来た、まさに「ターニングポイント」です。

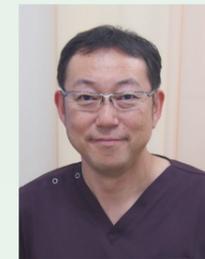
「多死社会」ともえる超高齢社会においてキーワードは「人生の最終段階における決断」であり、以下3つに集約されます。

- ◎ 最期まで自宅で
- ◎ 時々入院ほぼ自宅
- ◎ 施設入所

しかし、その決定は容易ではないことも事実です。私たちは新たな医療介護連携を合言葉として「ACP※1への取り組み」、「高齢者救急※2」を活用して精一杯皆様に寄り添ってお手伝いさせていただきます。

※1 ACP：人生の最終段階における医療やケアについて本人・家族・医療・介護関係者で繰り返し話し合う。

※2 高齢者救急：救急搬送車の6割超が65才以上で中等症以下の高齢者



病院長 石渡俊次
Tosiji Ishiwata

呼吸器内科・総合内科

クローバーホスピタルは、暮らしを中心とした医療を行う「在宅療養支援病院」です。2025年には病院を改修し、さらに充実した外来、入院、在宅診療を行います。

外来では、日々の体調管理のほか、必要に応じて専門医療や在宅診療へ繋がります。入院では、肺炎など一般の疾患の治療や、急性期病院から暮らしに戻るためのリハビリを行います。また通院が困難な方には、在宅診療を行います。さらに患者サポートセンターが介護サービスとの連携を行って暮らしをささえます。

希望にあった暮らしには医療や介護をどう利用するかが大切です。これからも地域の皆様の暮らしを支える病院を目指します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部

患者様・ご家族様の思いに寄り添った、多職種協同によるきめ細やかなケアを提供し、地域の皆様から“えらばれる”病院づくりを目指しています。

看護部理念

高齢者・障がいを持った患者様が、地域でも病院でも自律した生活ができるよう支援します

基本方針

- 患者様の持てる力を可能な限り引き出し、日常生活の自立に向けた援助を行う
- 患者様の意思を尊重し、患者様の意思決定のアドボケートの役割を果たす
- 地域資源を理解し、院内多職種連携はもとより、院外職員との連携を図る
- 患者様に適切な援助・支援ができるために、自己研鑽をする
- 職員がやりがいある看護・介護ができる職場環境にする

在宅診療

法人の理念でもある“地域に密着した入院のできる在宅医療”を目指し、病棟スタッフと連携をとりながら患者様ご家族様に安心して療養生活を送っていただけるよう支援します。

また、在宅診療を中心に「訪問リハビリテーション」「ひろき訪問看護ステーション」とのチームワークで「質の高い在宅療養」をご提供いたします。ご自宅での看取りを希望される方や在宅療養に不安をお持ちの方にも、しっかりと寄り添いサポートいたします。

リハビリテーション部

リハビリテーション部では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が協同してリハビリテーションにあたります。

リハビリテーションの目的は、「生活の再建」です。日常生活に必要な動作能力の改善を図る為、リハビリテーション室のみではなく、病棟内での練習を積極的に取り入れています。また、在宅復帰を目指す患者様には、家屋調査による住宅改修のアドバイス・介助方法指導・生活指導を入院中より積極的に実施します。

看護師や介護職員とも協同し、生活に視点をのいた支援を心掛けています。

ACCESS MAP

- ◎江ノ島電鉄 石上駅 下車 徒歩4分
- ◎JR 藤沢駅・小田急 藤沢駅 下車 徒歩13分



医療法人篠原湘南クリニック クローバーホスピタル

〒251-0025 神奈川県藤沢市鵜沼石上3-3-6

入院相談 TEL 0466-24-3400 **TEL 0466-22-7111**

在宅診療 TEL 0466-22-7163

FAX 0466-22-7112 <http://www.cloverhospital.jp/>

クローバークリニック	〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬4-10-22	電話0466-22-5110 FAX0466-22-5135
ひろき訪問看護ステーション	〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸3-4-22	電話0466-55-3810 FAX0466-55-3820
老健リハビリセンタークローバーヴィラ	〒251-0021 神奈川県藤沢市鵜沼神明3-1-1	電話0466-55-3011 FAX0466-55-3012
クローバーヴィラ通所リハビリテーション	〒251-0021 神奈川県藤沢市鵜沼神明3-1-1	電話0466-24-5901 FAX0466-22-3881
クローバー 居宅介護支援事業所	〒251-0021 神奈川県藤沢市鵜沼神明3-1-1	電話0466-86-7040 FAX0466-25-2812
介護付有料老人ホームクローバーガーデン	〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬4-10-22	電話0466-22-7500 FAX0466-22-8141



20250417300



医療法人 篠原湘南クリニック
クローバーホスピタル

Clover Hospital



地域に密着した“入院のできる在宅医療”“医療のある介護”を実践しています。

